

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪教育福祉専門学校
設置者名	学校法人大阪聖徳学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
教育福祉専門課程	教育保育科第一部	夜・通信	1,335	160	
	教育保育科第二部 (教育・保育科第二部)	②夜・通信	1,260	135	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考) 令和2年度入学生より、「教育・保育科第二部」から「教育保育科第二部」に名称変更					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページ (kyohuku@osaka-shotoku.ac.jp) に公表する。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪教育福祉専門学校
設置者名	学校法人大阪聖徳学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページ (kyohuku@osaka-shotoku.ac.jp) に公表する。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	国会議員 (現衆議院議員)	令和元年10月5日～ 令和3年6月7日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	国会議員 (元衆議院議員)	令和元年10月5日～ 令和3年6月7日	経営計画のチェッ ク機能
非常勤	前大阪府議会議員	令和元年10月5日～ 令和3年6月7日	人事・法務・財務 関係等のチェック 機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪教育福祉専門学校
設置者名	学校法人大阪聖徳学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>本校の教育課程は、教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)の下、建学の精神、教育理念が適切に反映され、幼稚園教諭免許、保育士資格取得に要する教科目単位及び本校独自の教科目、その他教科目単位によって構成する。法令上の教科目単位以外の本校独自の教科目単位その他科目単位の見直し、法令上の科目であっても、授業計画(シラバス)、授業方法(アクティブラーニング)、学生の座席配置等の授業実態の点検、見直しにより、より高い学習上の成果が期待できることから、社会の変化、保育現場の変化等が反映された教育課程になるよう、教育課程編成委員会、FD委員会等の意見も踏まえて検討し、教育課程の見直し、検討し、その改善案を策定する。</p> <p>その改善案を受け、2月初旬より授業計画(シラバス)の改定を行い、3月中旬までに点検・修正を終え、3月末に本校ホームページに公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	本校ホームページ(kyohuku@osaka-shotoku.ac.jp)に公表する。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修の評価は、学生の学習意欲に関わり、常に見直すことが重要である。教育課程委員会、FD委員会、教職員会議の儀を経て、学校長が決定する。授業期間中、定期試験で行われる筆記試験、実技試験、レポート試験等の成績や授業の出席状況、授業の取り組み状況及びレポート、作品等の提出物等、シラバスに明示された内容により、単位認定基準に基づき、厳格かつ適正・総合的に評価して決定するものとする。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取り組みの概要)</p> <p>成績評価は、教育課程委員会、FD委員会、教職員会議の儀を経て、学校長が定めた「成績評価基準」の下に行っている。問題ある時はその取り扱い、事後の指導について協議し、学校長の承認を経て実施する。</p> <p>各授業科目の評価は、「秀・優・良・可・不可」の評語によって掲示され、評語は試験の成績、平常の学習状況、出席状況等を総合して決定する。また成績の総合的かつ客観的な基準として、GPA (Grade point Average) を設定し、成績評価に対応して評点を意味するGP (Grade point) を付与する。付与されたGPに単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割ることで履修科目の成績評定平均値を意味するGPAを算出する。</p> <p>成績の分布状況は、本校ホームページに公表する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本校ホームページ (kyohuku@osaka-shotoku. ac. jp) に公表する。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業の認定方針は、教育課程編成委員会、FD委員会等の意見も踏まえて検討し、学校長が決定する。卒業認定では、卒業認定の方針 (ディプロマ・ポリシー) の下、客観的妥当性、厳格性を確保するため、あらかじめ明示した基準に従って適切に行いうるものとする。そのため、定期試験の結果を点検、検討し、問題ある時はその取り扱い、事後の指導について協議し、学校長の承認を経て実施する。</p> <p>卒業認定の方針 (ディプロマ・ポリシー)</p> <p>① 職業人意識 心身の健康管理の知識を身に付け、職業人としての使命感、責任感を持ち、専門職業人として、人間性、専門性の向上に取り組むことができる。</p> <p>② 問題解決能力 イ) 思考力・判断力 専門知識、技能を活用し、子どもの発達成長の課題や保護者対応に最善策を考えることができる。 ロ) コミュニケーション能力 自分の思いや考えを的確に表現し、他者との相互理解を高めることができる。</p> <p>③ 専門基礎力 イ) 専門知識の理解と基礎的技能の習得 幼児教育保育についての専門知識、技能や自然体験、社会体験から得た経験に基づき、子どもの視点に立って、環境を構築し、一人ひとりに適応した古結区保育、体育指導を実践する力を持っている。 ロ) 得意分野を持つ 得意分野を持ち、職場での役割分担ができる。 ハ) 専門知識・技能の活用 修得した専門知識・技能や学外学習、インターンシップでの体験等を活用して、子どもの教育保育や子どもを取り巻く環境や課題に適切に対応することができる。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>本校ホームページ (kyohuku@osaka-shotoku. ac. jp) に公表する。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪教育福祉専門学校
設置者名	学校法人大阪聖徳学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	www.osaka-shotoku.ac.jp/information.html
収支計算書又は損益計算書	www.osaka-shotoku.ac.jp/information.html
財産目録	www.osaka-shotoku.ac.jp/information.html
事業報告書	www.osaka-shotoku.ac.jp/information.html
監事による監査報告（書）	www.osaka-shotoku.ac.jp/information.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

教育保育科第一部

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育福祉専門課程	教育保育科第一部	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,945 単位時間/単位	855 単位時間 /単位	990 単位時間 /単位	820 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
75人		54人	0人	13人	36人	49人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>本校の教育課程は、建学の精神「報恩感謝」に基づく教育目標の達成と幼稚園教諭、保育士、体育指導者の養成を目的とすることから、教育職員免許法、同施行規則、児童福祉法、同施行令、同施行規則の定める教科目、単位、本校独自の教科目によって構成し、「教員養成機関指定基準」並びに「指定保育士養成施設指定基準」等に基づき、カリキュラムを作成している。</p> <p>「質の高い保育者、体育指導者」の要請に向け、シラバスの点検、修正ならびにアクティブラーニング等の授業方法によって、より質の高い学習成果が得られるように努めることとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>各授業科目の学習評価は、シラバスに記載した授業の到達目標の習得度・理解度をもってなされるものとする。また学習評価を多面的に行うために、試験の成績、平常の学習状況、出席状況等を総合して決定し、シラバスの「成績評価の方法」欄に評価配分や実施の時期、内容、方法などを記載するものとする。</p> <p>成績の総合的かつ客観的な基準として、GPA (Grade point Average) を設定し、成績評価に対応して評点を意味する GP (Grade point) を付与する。付与された GP に単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割ることで履修科目の成績評定平均値を意味する GPA を算出する。</p>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 本校の卒業要件 2年以上在学し、1,035時間以上修得し、幼稚園教諭免許又は保育士資格を習得した者に対して、単位認定検討部会の作成案に基づき、教職員会議の議を経て、学校長が認定し、卒業証書を授与する。</p> <p>(2) 幼稚園教諭2種免許、保育士資格を取得しようとするとき 教育職員免許法、同施行規則、児童福祉法、同施行令、同施行規則に定める教科目、単位を履修モデルに従って必要な単位を取得しなければならない。</p> <p>(3) その他の資格を取得しようとするとき それぞれの資格取得に必要な講座・教科目、単位、時間を履修しなければならない。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>1. 聖徳学園奨学金制度 試験審査を受けることで、その評価によって第Ⅰ区分～第Ⅳ区分により奨学生制度(2年目については、本校の定期試験・出席状況により見直しする。継続採用の場合は2年目も減免)</p> <p>2. その他の学費支援</p> <p>(1) 紹介型学費減免制度 本校を紹介の方の双方が受験・合格・入学した方への授業料減免制度</p> <p>(2) 入学後奨学生制度 入学後、本校の定期試験において優秀な成績を修めた方に本校規定の奨学生規定に基づき給付する制度</p> <p>(3) 勝山愛和幼稚園勤務者への奨学生制度 本校系列の勝山愛和幼稚園教員養成の奨学生制度と、夜間部学生対象の勝山愛和幼稚園助手(契約職員)奨学生制度があり、入学後の選考により採用する制度</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
29人 (100%)	1人 (3%)	27人 (94%)	1人 (3%)
(主な就職、業界等) 学校法人 大阪聖徳学園 勝山愛和幼稚園ほか 社会福祉法人 聖徳園 香里敬愛保育所ほか			
(就職指導内容)			
1. キャリアデザインセミナー実施 記念館ホールにおいて、幼稚園・認定こども園・保育所・福祉施設その他一般の各分野における仕事内容を正しい理解を促進するために現場の園長・経験者の先生方を招聘し実施した。 実際の仕事理解を正確に把握するとともに、質疑応答や就職への不安などの除去に好評を得た。			
2. 就職活動の手順・手続き・注意など			

<p>活動時期・受験・内定後手続き・研修等及び、学内の面談・学修の進捗状況と法人組織と会社組織との違いや、書類作成方法などの説明を実施。</p> <p>3. 社会人としてのマナー講座の開講 外部講師を招聘し、社会人としての基本的マナーの修得をするために実施。</p> <p>4. 就職活動後半における手順 就職内定後の書類作成や研修への参加に際しての留意点等。</p> <p>5. 個人面談の実施 5月～12月の間の複数回</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>1. 幼稚園教諭2種免許状 29人取得(100%)</p> <p>2. 保育士資格 29人取得(100%)</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>令和2年度、コースを廃止し、学科名称を「教育・保育科第一部」から「教育保育科第一部」に変更したため、「卒業者数、進学者数、就職者数」は実績による。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
70 人	4 人	5.7%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>経済的事情、進路変更のため</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>クラス担任を中心に個別対応と事情によっては、奨学金担当などとも相談対応している。</p>		

教育保育科第二部

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育福祉専門課程	教育保育科第二部	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜間	1,945 単位時間/単位	855 単位時間 /単位	800 単位時間 /単位	400 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		28人	0人	8人	19人	27人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>本校の教育課程は、建学の精神「報恩感謝」に基づく教育目標の達成と幼稚園教諭、保育士の養成を目的とすることから、教育職員免許法、同施行規則、児童福祉法、同施行令、同施行規則の定める教科目、単位、本校独自の教科目によって構成し、「教員養成機関指定基準」並びに「指定保育士養成施設指定基準」等に基づき、カリキュラムを作成している。</p> <p>「質の高い保育者、体育指導者」の要請に向け、シラバスの点検、修正ならびにアクティブラーニング等の授業方法によって、より質の高い学習成果が得られるように努めることとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>各授業科目の学習評価は、シラバスに記載した授業の到達目標の習得度・理解度をもってなされるものとする。また学習評価を多面的に行うために、試験の成績、平常の学習状況、出席状況等を総合して決定し、シラバスの「成績評価の方法」欄に評価配分や実施の時期、内容、方法などを記載するものとする。</p> <p>成績の総合的かつ客観的な基準として、GPA（Grade point Average）を設定し、成績評価に対応して評点を意味するGP（Grade point）を付与する。付与されたGPに単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割ることで履修科目の成績評定平均値を意味するGPAを算出する。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>(1) 本校の卒業要件 2年以上在学し、1,035時間以上修得し、幼稚園教諭免許又は保育士資格を習得した者に対して、単位認定検討部会の作成案に基づき、教職員会議の議を経て、学校長が認定し、卒業証書を授与する。</p> <p>(2) 幼稚園教諭2種免許、保育士資格を取得しようとするとき 教育職員免許法、同施行規則、児童福祉法、同施行令、同施行規則に定める教科目、単位を履修モデルに従って必要な単位を取得しなければならない。</p>

<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>1. 聖徳学園奨学金制度 試験審査を受けることで、その評価によって第Ⅰ区分～第Ⅳ区分により奨学生制度(2年目については、本校の定期試験・出席状況により見直しする。継続採用の場合は2年目も減免)</p> <p>2. その他の学費支援</p> <p>1) 紹介型学費減免制度 本校を紹介の方の双方が受験・合格・入学した方への授業料減免制度</p> <p>2) 入学後奨学生制度 入学後、本校の定期試験において優秀な成績を修めた方に本校規定の奨学生規定に基づき給付する制度</p> <p>3) 勝山愛和幼稚園勤務者への奨学生制度 本校系列の勝山愛和幼稚園教員養成の奨学生制度と、夜間部学生対象の勝山愛和幼稚園助手(契約職員)奨学生制度があり、入学後の選考により採用する制度</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) 令和2年度名称変更のため、卒業生なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

教育・保育科第二部

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育福祉専門課程	教育・保育科第二部	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜間	1,855 単位時間/単位	855 単位時間 /単位	800 単位時間 /単位	400 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		62人	0人	8人	19人	27人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>本校の教育課程は、建学の精神「報恩感謝」に基づく教育目標の達成と幼稚園教諭、保育士の養成を目的とすることから、教育職員免許法、同施行規則、児童福祉法、同施行令、同施行規則の定める教科目、単位、本校独自の教科目によって構成し、「教員養成機関指定基準」並びに「指定保育士養成施設指定基準」等に基づき、カリキュラムを作成している。</p> <p>「質の高い保育者、体育指導者」の要請に向け、シラバスの点検、修正ならびにアクティブラーニング等の授業方法によって、より質の高い学習成果が得られるように努めることとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>各授業科目の学習評価は、シラバスに記載した授業の到達目標の習得度・理解度をもってなされるものとする。また学習評価を多面的に行うために、試験の成績、平常の学習状況、出席状況等を総合して決定し、シラバスの「成績評価の方法」欄に評価配分や実施の時期、内容、方法などを記載するものとする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>(1) 本校の卒業要件 2年以上在学し、1,035時間以上修得し、幼稚園教諭免許又は保育士資格を習得した者に対して、単位認定検討部会の作成案に基づき、教職員会議の議を経て、学校長が認定し、卒業証書を授与する。</p> <p>(2) 幼稚園教諭2種免許、保育士資格を取得しようとするとき 教育職員免許法、同施行規則、児童福祉法、同施行令、同施行規則に定める教科目、単位を履修モデルに従って必要な単位を取得しなければならない。</p> <p>(3)</p>
学修支援等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
27人 (100%)	0人 (0%)	26人 (96%)	1人 (4%)

<p>(主な就職、業界等)</p> <p>学校法人 大阪聖徳学園 勝山愛和幼稚園ほか 社会福祉法人 聖徳園 香里敬愛保育所ほか 社会福祉法人 イエス団 ガーデンエル (乳児院・障害児者) 施設ほか</p>
<p>(就職指導内容)</p> <p>1. キャリアデザインセミナー実施 記念館ホールにおいて、幼稚園・認定こども園・保育所・福祉施設・その他一般の各分野における仕事内容を正しい理解を促進するために現場の園長・経験者の先生方を招聘し実施。実際の仕事理解を正確に把握するとともに、質疑応答や就職への不安などの除去。</p> <p>2. 就職活動の手順・手続き・注意など 活動時期・受験・内定後手続き・研修等及び、学内の面談・学修の進捗状況と法人組織と会社組織との違いや、書類作成方法などの説明を実施。</p> <p>3. 社会人としてのマナー講座の開講 外部講師を招聘し、社会人としての基本的マナーの修得をするために実施。</p> <p>4. 就職活動後半における手順 就職内定後の書類作成や研修への参加に際しての留意点等。</p> <p>5. 個人面談の実施 5月～12月の間の複数回</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>1. 幼稚園教諭2種免許状 27人 (100%) 2. 保育士資格 27人 (100%)</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p> <p>令和2年度入学生より、「教育・保育科第二部」から「教育保育科第二部」に名称変更のため、令和元年度入学生をもって募集停止</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
85人	5人	5.8%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>経済的事情、体調不良、家庭の事情、結婚のため</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>クラス担任を中心に個別対応と事情によっては、奨学金担当なども相談対応している。</p>		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
教育保育科第一部	250,000 円	300,000 円	120,000 円	行事参加費・教科書代等必要
教育保育科第二部 (教育・保育科第二部)	250,000 円	180,000 円	50,000 円	行事参加費・教科書代等必要
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
聖徳学園奨学金制度 (第 I 区分～第IV区分) 審査評価によって採用。 早期受験及び本校奨学金制度・紹介型学費減免制度 入学後の奨学生制度 (定期試験後の結果で給付)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校ホームページ (kyohuku@osaka-shotoku.ac.jp) に公表する。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 各点検項目を通して、教育活動の充実を図り、保育・福祉現場のニーズに対応できる専門知識・技術の修得と教育環境の整備を行う。又教職員の資質向上を図るための各研修などへの参加と、学生への授業の取り組みの改善を図る。これらを通して学生の就業意欲を高め充実した学校生活と卒業生への支援体制に取り組む。学校関係者評価内容をホームページで公表をする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
地域幼稚園園長・副園長	平成 31 年 4 月～ 令和 3 年 3 月	幼児教育科関係 (幼稚園)
地域保育所・施設長	平成 31 年 4 月～ 令和 3 年 3 月	幼児教育科関係 (保育所)
地域公立高等学校長	平成 31 年 4 月～ 令和 3 年 3 月	教育関係者
同窓会代表	平成 31 年 4 月～ 令和 3 年 3 月	同窓会代表
教育保育科 2 年保護者	平成 31 年 4 月～ 令和 3 年 3 月	保護者代表
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) honbu@osaka-shotoku.ac.jp		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
本校ホームページ（kyohuku@osaka-shotoku.ac.jp）に公表する。